

社会科 11月の実践

「誰にどの都市で暮らすことを勧めますか」－3都の比較からとらえる近畿地方の特徴－

<授業の概要>

日頃、知識構成型ジグソー法を授業実践に取り入れる際、大きな可能性を感じるとともに、学び方にある程度見通しがある子どもたちにとっては「窮屈な学習法である」と感じることもある。その理由として「追求したい視点を選択できない場合があること」「追求活動に用いる資料が限られていること」「比較的、短時間で（速いテンポで）エキスパート→ジグソー→クロストークという一連の活動が行われること」などが挙げられる。そこで今回は、地理的分野において「近畿地方」を題材に、知識構成型ジグソー法を少しだけゆるめて授業を構想した。

子どもたちは近畿地方の地図をもとに、都道府県やその県庁所在地の位置、地形、主要な生産物などを確認した後、「近畿地方で新たな生活を始めようとしている3人の人物を想定して、それぞれの人に『大阪・京都・神戸』のうち、どの都市で暮らすことを勧めるのか」をテーマに学習していくことを確認した。

まず、一人一人の子どもが「3人の人物にどの都市を勧めるのか」考えを記述した。その後、3人組をつくり、「大阪・京都・神戸」のいずれかの都市を担当し、調査を進めた。その際、教師が準備した資料と、子どもたち自身が準備した資料を併用した。調査後には、それぞれの都市を担当した子ども同士でグループをつくり、エキスパート学習を行った。その後、もとの3人組に戻り、ジグソー学習を行った。ジグソーグループでは、それぞれの都市で生活するメリットとデメリットを明確にしたうえで、グループの提案する「3人に勧める都市」を決定した。クロストークにおいては、それぞれのグループの結論を表にして板書したうえで「その都市を選択した理由」について語り合う時間を設けた。最後に、もう一度、個で「3人の人物にどの都市を勧めるのか」考えを記述した。

※参考資料

東京大学大学発教育支援コンソーシアム推進機構 自治体との連携による協調学習の授業づくりプロジェクト 平成27年度活動報告書 「協調が生む学びの多様性 第6集 ー私たちの学習科学を育てるー」

<授業者の考察>

- ・教師が資料を提示したことで、子どもたちがもつ「近畿地方の各都市に対する印象や既有知識」が「資料をもとにした根拠ある考察」に変化した
- ・知識構成型ジグソーを用いることにより、「各都市で暮らすメリットとデメリットを明確にしながらか対話を深めていく子どもたちの姿」が見られた
- ・「子どもたちが自発的に調査した内容」をもとにした考察により、考えが深まっている子どもにとってもクロストークが意味ある時間になった
- ・「教師が提示した資料自体を問う子ども」が少なかったため、資料の確かさを問うたり、選択能力を高めたりできるような実践を取り入れる必要性を感じた

<子どもたちの記述に見られた変化>

<題材が始まった時の考え>

人	勤める都市	勤める理由
コウジ	神戸	神戸は面積が広いから、店をもち、比較的容易かと思ってるから。
ヨリコ	大阪	夫が大阪で働いているから、市内の名物もいろいろと楽しめようと思うから。また、この街の雰囲気を思ってるから。
マサキ	京都	京都は古都ゆかりの街から、落ち着いたイメージがある。
近畿地方は		人口が多い な地方です。



<題材が終わる時の考え>

人	勤める都市	勤める理由
コウジ	京都	京都は他都市に比べて、失業率が低い。観光客は多いけど、京都に住んでいる人の人口密度は低いから、店が開きやすいと思う。京都は有名な古都で、各地から多くの観光客が来るので、開いた店を運営することもできるから。
ヨリコ	神戸	運動公園や動物園等の都市公園が多いのが特徴で、子供の教育にも向いているのと、家族全員で楽しむこともできると思う。10分以内で通勤できるヨリコさんにとって、神戸アイランドには商業施設があるから便利。家賃も安い住居がとれようと思うので、安心して生活できるから。
マサキ	神戸	神戸は犯罪の認知件数が少なく、また、家賃の安い住居づくりも進んでいるので、老後も安心して生活できる。他都市に比べて晴天日が多くて、比較的気温差もおおくないから、暮らしやすい生活できるから。
近畿地方は		地域により、特徴が多種多様 な地方です。

<題材が始まった時の考え>

人	勤める都市	勤める理由
コウジ	京都	お店とかは大阪より少ないと思うけど、歴史的建造物が多いから、観光客が多く、自分の店を世界に広めることができると思う。
ヨリコ	大阪	人口とか、多いと思うし、店とか多いと思うから、楽しみながら過ごせそうだと思う。
マサキ	京都	京都は歴史的な建造物が多かったり、人口が少ないと思うから、落ちついて暮らせると思う。
近畿地方は		店や人口が多い暮らしやすそう な地方です。



<題材が終わる時の考え>

人	勤める都市	勤める理由
コウジ	京都	完全失業率が神戸・大阪に比べ低く、将来が安心できる。店は大阪の方が多いけど、歴史的な名所が多く、観光客がたくさん来るので、自分の料理を広められると思った。
ヨリコ	神戸	着陸公園が多いため、家族で楽しく暮らすことができる。災害対策が進んでいる・犯罪が少ない・気候が安定しているということから、安心して生活することができると思った。
マサキ	京都	歴史的な名所が多く、春秋以外は観光客が少ないから、2人1のんびり過ごすことができる。バスとか、交通の便も悪くはないので合っていると思った。大阪や京都は犯罪や交通事故が多いので安心できない。
近畿地方は		場所によって、特徴が異なる な地方です。

<題材が始まった時の考え>

人	勤める都市	勤める理由
コウジ	京都	昔からある歴史の深い場所であり、昔から変わらない製法など を学ぶことが出来るのではないかと、昔と今の両方を学べる 場所だと思つたので京都を勤めます。
ヨリコ	大阪	まだ子供も多く、下の子は小さいので、父も家にいる時間が 少ないと長い方が...と思いきよ母も人も仕事に集中できるから 家にいる時間を大切にできるから大阪を勤めます。
マサキ	京都	車の免許がないという点では、交通網が発達してすぐの駅 が...という点では、おちつき...時にはおちつき...場所... ...なので京都を勤めます。

近畿地方は

観光地です!!

人でのんびりできる所もある、落ちつける所もある毎日楽しいような地方です。



<題材が終わった時の考え>

人	勤める都市	勤める理由
コウジ	京都	人口が減りつつある一方外国人観光客が増え、京都では、 京都の中だけでなく、外国での評価も増えると思いきよ、 交通渋滞も少なく、客の少ない場所が持てるのでは...と、 京都を勤めます。
ヨリコ	神戸	大阪が家賃不況という点では、神戸...と感じました。神戸には 公園や子供公園などの公共施設が... 神戸、気兼ねなく神戸が家賃...と...と思いきよ。
マサキ	神戸	家賃の安い...中心...と重視...から、60歳以上の人口... ...の中...神戸...神戸...神戸...交通機関を 利用できる...という点で神戸を勤めます。

近畿地方は

遊び場です

各県府により特色が豊か、住んで楽しい

な地方です。

<題材が始まった時の考え>

人	勤める都市	勤める理由
コウジ	京都	食文化があり、修行をするには良いと思う。 いろいろな店が、働ける。 外国からの旅行者も多いから、様々な味覚を学べると思うから。
ヨリコ	大阪	大阪は、お笑いの文化があって、楽しいイベントがあるし、大都市だから家族で住むには便利だと思うから。また大阪で働いているから、イベントで働けるから、なるべく出費を減らしたいと思う。大阪に商品が多い。
マサキ	京都	大都市で交通網が発達しているから。 3月、秋、春は過ごしやすい気候。

近畿地方は

地域によって特色が異なる

近畿地方です。



<題材が終わった時の考え>

人	勤める都市	勤める理由
コウジ	京都	京都は失業率が低く、働ける環境が整っていると思うから。 3月、京都は観光客が多いから色々な味覚の人と知り、経験をできるから良いと思うから。そして、京都は「日本食」のイメージが強いが、喜ばず中華料理屋が多いから、食文化が片寄っている訳ではないのだから心配しない。(むしろ、色々な店がある良い) 3月、交通の便が良いから移動も便利。
ヨリコ	神戸	神戸は、ニュータウンが広がると発展している都市だから、公園が多い子供が遊べる場所がある。そして阪神淡路大震災の防災意識が高くて、大規模な工事や建て替えの所も多く、犯罪率の低い町だから安全だと思えるから。3月、神戸のおしゃれなカフェが多いと聞いているから嬉しいと思うから。
マサキ	大阪	大阪は人が多く、交通の便利だから、車がないと行けないマサキさんでも安心して暮らせると思うから。そして交通手段の多さや行ける所が広い。3月、通勤と自分の時間が多く、マサキさんにして、お洒落な洋服を着たいから。

近畿地方は

発展した都市があり、様々な人にとって住みやすい

近畿地方です。